

光センシング技術部会 講演要旨

開催日：平成25年6月17日（月） <2013-1 ②>

テーマ：「防犯カメラの高密度・大量設置による安全・安心な社会の実現に向けて」

講演者：藤井雄作 氏（群馬大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授）

現在の防犯カメラシステムについて、高密度・大量設置を阻む問題点は、以下の2つに集約されると考えられる。すなわち、①プライバシー侵害の危険性が排除できないこと、②導入コスト・運用コストが大きすぎる。これら2点の問題点が高いレベルで解決されれば、「個人による自宅前の見守り」、及び、「行政による道路・公園等の公共空間の見守り」が、違和感なく当然のこととして行われる環境が整ってくると考えられる。上記2つの障害を解消することを目標に、筆者らは「e自警ネットワーク (www.e-jikei.org)」に関する研究開発に取り組んできている。近い将来、凶悪な犯罪事件の容疑者が、速やかに特定・追跡・逮捕される社会が実現することを願っている。さらには、誘拐事件において、誘拐された子供が、速やかに救出される社会が実現することを願っている。